

地域ケア推進会議

鹿児島市地域包括支援センター 谷山南

【計画】

作成担当者： 大園 美穂

開催日時	平成31年02月19日 14:00 ~ 15:30	開催場所	福平福祉館
参加者	民生委員：2人、居宅介護支援事業所：2人、障害者福祉機関：1人、保健センター：1人、社会福祉協議会：1人、町内会：1人、団体婦人部：1人、地域包括支援センター職員：8人		
	総数 17人		
内容	テーマ	平成30年度 第3回谷山南地域ケア推進会議	
	目的	①平川地区で行われているサロンの紹介 ②平川地区移動販売店舗の利用状況について ③不足している地域資源・課題について意見交換 ④生活支援コーディネーターより鹿児島市総合事業について	
	概要	①平川地区の紹介 平川校区内の豆打地区で行われている移動販売店舗の利用状況と課題について説明する。 平川校区で開催している2つのサロンの情報提供とそれぞれの課題について説明する。 ②3グループに分けて、事前に用意した検討テーマに沿って意見交換を行う。 ③生活支援コーディネーターより鹿児島市の総合事業について説明する。	

【結果】

開催日時	平成31年02月19日 14:00 ~ 15:30	開催場所	福平福祉館
参加者	民生委員：2人、居宅介護支援事業所：2人、障害者福祉機関：1人、保健センター：1人、社会福祉協議会：1人、町内会：1人、団体婦人部：1人、地域包括支援センター職員：8人		
	総数 17人		
内容	①平川地区の紹介 平川校区内の豆打地区で行われている移動販売店舗の利用状況と課題について説明する。 平川校区で開催している2つのサロンの情報提供とそれぞれの課題について説明する。 ②3グループに分けて、事前に用意した検討テーマに沿って意見交換を行う。 ③生活支援コーディネーターより鹿児島市の総合事業について説明する。		
	<p>・市街化調整区域における高齢化、人口減少、社会資源不足、道路整備問題など平川校区における地域課題を浮き彫りにし焦点を当てたことで、改めて地域住民が抱える困りごとや地域の現状を再認識できた。限界集落になりうる恐れがあることも課題として提起できた。</p> <p>・グループワークでは「社会資源や世話人の創出、育成に捉われず、地域の中の限られた資源（社会、人的）をどのように活かすか工夫や発想の転換も大事では」「企業や外部の人材等を活用しながら地域住民が活性化する仕組みを作ってはどうか」との意見も聞かれ、福祉や介護だけの視点ではなく多角的なアプローチを図ることも課題解決の糸口になるのではと実感した。</p> <p>・30年度の地域ケア推進会議は、3民児協区（谷山西部、和田、谷山南部）の地域課題に焦点を当て取り組んできたことで、各地域の実情を理解するとともに、強みと弱みの把握、地域課題の発見と再認識できたことは成果だった。高齢の親と単身の子の同居（8050問題）、市街化調整区域における過疎化と少子高齢化など、社会問題化している事象が谷山南圏域でも起きていることを全員が認識できた。</p>		
今後の課題など	<p>・道路整備や移動手段、買い物店舗等の資源創出はすぐに解決が図れない課題であり、今後も地域の課題として対策の提起と検討を繰り返していく必要がある。</p> <p>・来年度の会議に向け、検討テーマと委員選定を再検討していく必要がある。</p>		